

第18回貧困の連鎖対策研究会 兼
特定非営利活動法人子どもへの学習支援基金第4回勉強会
議事録

日時：令和元年7月23日（火）午後4時～6時

場所：東京プリンスホテル11階「末広」

1 報告事項

千代田グループで「特定非営利活動法人子どもへの学習支援基金」ができたことを報告（吉田氏・アンディ氏・樋口さん）。

2 決議事項

(1)ホームページ作成

愛称は「キッズアシスト」にし、ドメイン名を取得する。

(2)会費

近日中に会費を請求する。

(3)マーリング名

マーリング名を「子どもへの学習支援基金」に変更する。

(4)勉強会の定期日程

2019年10月以降、毎月第4水曜日の午後3時から6時。会場は、東京プリンスホテル。ただし、8月と12月はお休み。また、ホテル側の都合で変更になる場合もある。

3 審議事項

「活動計画」について意見交換されたが、結論には至らず。

一度現場を見るため、8月に子ども食堂と無料塾（つばめ塾）を見学する（日程等を神山氏がメンバー全員にメールする）。

メンバーからの意見＊＊＊

- 基金なので、①資金を集める方法②自らどういう活動をするのか③どのような団体・個人を支援するのか、を考える必要がある。我々の知見を広げるために、現場の話を聞く必要もあるのではないか。（高橋（榮）氏）
- 対象を学習支援だけにするのか？「食」を絡めた学習支援に対しても援助をするのか？支援対象の基準を決めなければ、活動計画は決まらない。（神山氏）
- 支援者を集めるための説明として「非認知能力」はわかりにくい。普遍的で全員の共通資産となるような具体的な支援方針を決める必要がある。理事長は、幼児教育を重要視しているが、具体的にどこで何をするのか。学習支援だけに絞るよりは、もっと間口を広げた方がいいのではないか。（橋本氏）
- 本基金説明のために、構造的にわかりやすくすればいい。（西澤氏）
- 器の議論が多すぎる。とにかく動くことが大切。（田口氏）
- 例えば、①まず3団体に助成金形式で支援し、基金を動かしている実績を作る。
②児童養護施設を訪問して自ら活動して実績を残す、という方法がある。（横山氏）
- メンバー各自得意分野があるので、分科会を作つてチーム分けして活動するのはどうか。（山本（教）氏）
- 「ロータリーの友」に載せるために、早く活動実績を残してほしい。（アンドリュー氏）
- フードバンクでも子ども食堂でもいいので、現場に行って運営している人と話をしたほうがいい。（富倉氏）

4 初参加メンバー

梅木桂子さん

5 配布物

(1)書籍「私たちは子どもに何ができるのかー非認知能力を育み、格差に挑むー」

まえがき

(2)2019年6月25日設立記念総会議事録

6 次回

2019年9月25日（水）午後4時～6時

東京プリンスホテル3階「ゴールデンカップ」